

カーボン・オフセットに用いられる VER (Verified Emission Reduction) の 認証基準に関する検討会

1. 検討会設置の背景

「カーボン・オフセット」とは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂の排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出されるCO₂についてその排出量を見積り、排出量に見合ったCO₂の削減活動に投資すること（具体的には、排出削減プロジェクトの実施に伴う排出削減量の取得）により、排出されるCO₂を埋め合わせするという考え方である。英国を始め欧州等での取組が活発であり、我が国でも民間での取組が始まりつつある。

カーボン・オフセットは、オフセットを行う主体自らの削減努力を促進する点で、これまで排出が増加傾向にある業務、家庭部門等の取組を促進することが期待されるが、一方で、英国において、オフセットするための削減活動が実質的なCO₂削減に結びついていない事例等が指摘されている。

このため、2007年9月に「カーボン・オフセットのあり方に関する検討会」を立ち上げ、2008年2月に『我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）』をとりまとめたところ。

2. 検討会の目的

カーボン・オフセットの取組が広まることにより、事業者、国民等幅広い主体による自主的なCO₂の排出削減の実施が促進され、京都議定書の目標達成にも資することになる。

『我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）』では、カーボン・オフセットに用いられるクレジットとして、京都クレジット、JVETSの排出枠に加え、削減・吸収の確実性、削減・吸収の持続性、ダブルカウントがないこと等の一定の基準を満たしている VER (Verified Emission Reduction) をあげている。

本検討会においては、この VER のあり方やその検証・認証、VER の信頼性を確保するための仕組み等について検討を進める。なお、本検討会は公開で行うこととする。

3. 主な検討事項

- ・ 海外の VER の具体例のレビュー
- ・ 日本の VER の具体例（自主参加型排出量取引制度、グリーン電力証書の仕組み）のレビュー
- ・ カーボン・オフセットに用いられる VER のあり方について（グリーン電力証書、吸収源 VER、その他）
- ・ VER の信頼性を確保するための仕組み
- ・ 電子的登録簿（レジストリ）による VER の管理のあり方